

令和5年度 キャリア教育の全体計画

沖縄県立沖縄盲学校

【関係法令等】 ・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領 ・沖縄県の教育目標	【学校教育目標】 幼児児童生徒個々の障害の程度や発達段階に応じた適切な教育を行い、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、主体的に学び、生活する能力と態度・意欲を養い、健康でたくましく、心豊かに生きる力を身につけ、自立し社会参加する人材の育成を図る。	【基本理念】 ・学校経営の基本理念 ・校訓 清く明るく よく学び 光り輝く ・めざす幼児児童生徒像 ・めざす学校像 ・めざす教職員像
--	---	---

【キャリア教育の全体目標】 ○学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身につけていく。 ○特別活動を要としつつ、総合的な学習・探究の時間や学校行事、各教科等の特質に応じて、学校の教育活動全体を通じてキャリア教育の充実を図る。
--

【キャリア教育の重点】			
幼稚部	小学部	中学部	高等部
①幼児の遊びや生活等の体験を通して、興味・関心の拡大を図り、自己表現をしようとする態度、意思決定・選択の能力の基礎を育てる。 ②他学部の児童生徒と関わる機会を持ち、自己の成長や将来への憧れ、期待を抱くようにする。 ③社会的・職業的自立に向けて、生活リズム・基本的な生活習慣の形成やコミュニケーション能力、社会性の育成を図る。 ④保護者や地域と連携し、個に応じた一貫性のある教育を進める。	①特別活動を要としつつ学校教育全体を通して、主体的な意思決定を大切にするなど自己の生き方を見直したり、いろいろな職業について興味関心を持たせ、働くことの大切さ等勤労観や職業観を育てたりする。 ②高学年で職場体験及びキャリア教育を計画的に位置づける等、幼小中高一貫した進路指導の充実を図る。 ③社会的・職業的自立に向けて、基本的な生活習慣の形成やコミュニケーション能力、社会性の育成を図る。 ④保護者や地域と連携し、個に応じた一貫性のある指導を行う。 ⑤キャリアパスポートを活用し、学習の振り返りやキャリアへの意識を高め、自己のキャリア形成を見通し、自己評価していく。	①各教科等を合わせた指導や学級活動等におけるライフキャリア(より良い生活を送るための暮らし力や何事も楽しむ力)の充実に努める。 ②小・高等部と連携し系統立てた進路指導を行う。 ③保護者や地域と連携して将来を見据えた活動の機会を設定する。 ④個々の実態に応じた勤労観・職業観を育成する。 ⑤就業体験を計画的に位置づけ実施する。 ⑥キャリアパスポートを活用し、学習の振り返りやキャリアへの意識を高め、一人一人に沿ったキャリア形成と自己実現の達成に努める。	①生徒個々の特性を生かし、社会自立に向けて絶えず適切な指導・助言をするように努める。 ②生徒一人ひとりの勤労観、職業観を育てるため、幼小中学部との連携を密にし、発達段階に応じたキャリア教育を実施する。 ③家庭や地域と連携し、就業体験等の体験的な学習の充実を図る。 ④ハローワーク等の就業支援機関を活用し、生徒のキャリア発達やキャリア実現に役立てる。 ⑤個別移行支援計画を、適切な進路選択やスムーズな移行に活用する。 ⑥キャリアパスポートを活用し、学習の振り返りやキャリアへの意識を高め、自己のキャリア形成を見通し、自己評価していく。

基 礎 的 ・ 汎 用 的 能 力	人間関係形成・社会形成能力	多様な他者を理解し、相手の意見を聞いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画することができる力。
	自己理解・自己管理能力	自分と社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、進んで学ぼうとする力。
	課題対応能力	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力。
	キャリアプランニング能力	「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方について、自ら主体的に判断してキャリア形成していく力。

【各教科等との関連】				
各教科	特別な教科 (道徳)	領域 (特別活動) (自立活動)	各教科等を 合わせた指導	総合的な学習 ・探究の時間

【キャリア教育推進の基盤】					
専門性の向上	保護者との連携	地域との連携	関係機関の活用	長期的視点	情報発信

